



**UNITED NATIONS
UNIVERSITY**

2008年5月23日
MR/E18/08

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-5467-1212
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学 TICAD(アフリカ開発会議) IV 公式関連イベントを5つ開催

5月28日(水)～30日(金)、第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)が、「元気なアフリカを目指して“希望と機会の大陸”」と題して、横浜で開催されます。28日および29日、国連大学はアフリカの開発に関連する以下5つの公式関連イベントを開催します。また、国連大学学長は、29日の「環境・気候変動問題への対処」の分科会にリーダーとして出席します。

詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.unu.edu/jp/africa/ticad/>

重要課題の接点：気候変動と安全保障

(Critical Intersection: Climate Change and Security)

5月28日(水) 11:15～12:30 (国連大学高等研究所 パシフィコ横浜6階 横浜国際協力センター)

サハラ以南のアフリカで、気候変動が安全保障に与える影響について現状を分析し、平和と開発を促すための機会や、求められる重要な介入に焦点をあてるセミナー。主な議題は(1)食料の安全保障、(2)限られた水資源と武力紛争、(3)自然災害と人間の安全保障、(4)平和と開発を促すための重要な介入。スピーカーには、オビジオフォー・アギナム、国連大学 平和とガバナンスプログラム 学術研究官、政策と制度的枠組研究部長、クラウディア テン ハーフエ 国連大学高等研究所 アソシエイトフェロー及び持続可能な開発のガバナンスプログラムのコーディネーター、スリカーンタ・ヘラート 国連大学「持続可能な開発」プログラム学術審議官、ブライアン ソゴ OECD アフリカ・パートナーシップ・フォーラム(APF)、クリスチャン ウェバーシク 国連大学高等研究所 JSPS-UNU ポストドクトラルフェロー、ほか日本政府代表、アフリカ外交団、笹川平和財団の代表者を予定。国連大学高等研究所主催。お飲み物のご用意あり。

持続可能な開発のための教育：アフリカにおける地域の拠点

(Education for Sustainable Development: Focus on Regional Centres of Expertise in Africa)

5月28日(水) 13:15～14:15 (国連大学高等研究所 パシフィコ横浜6階 横浜国際協力センター)

RCE (Regional Centres of Expertise=持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点)は、持続可能な開発のための教育を地域コミュニティに提供するために動員された、既存の公的・非公的機関組織のネットワーク。本セミナーでは、RCEの活動を紹介するとともに、アフリカにおける役割について報告する。国連大学高等研究所はこのネットワークのセンターとして機能しており、特にアフリカで積極的な活動を行っており、当日はナイロビ都市圏が直面する環境問題、持続可能な開発のための課題をテーマにしたドキュメンタリーを上映する予定。スピーカーには、望月要子 国連大学高等研究所ESD スペシャリスト、名執芳博 同上席研究員を予定。お飲み物のご用意あり。

アフリカにおける環境管理技術開発のための能力開発と政策ニーズ

(Capacity Development and Policy Needs for Environment Management Technology Development in Africa)

5月29日(木) 14:00～15:30 (国連大学高等研究所 パシフィコ横浜6階 横浜国際協力センター)

環境管理技術は、持続可能な開発のための適切な環境ガバナンスに不可欠である。本セミナーは、人口や開発が環境に大きな影響を与えている今日、必要性が叫ばれている、高等教育の機会や技術の適用および開発を促進する政策を通じて、関連地域の能力を持続可能な方法で改善する事の重要性に焦点を当てる。スピーカーには、ステファン シムカンガ ザンビア大学副総長、槍目 雅 東京大学准教授、サンガ・ンゴイ・カザディ 立命館アジア太平洋大学教授、スリカーンタ・ヘラート 国連大学学術審議官を予定。

ハイレベル パネル討論：アフリカの持続可能な開発のための科学技術

(High-Level Panel: Science and Technology for Africa's Sustainable Development)

5月29日（木） 15:45～16:45（ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル（シルクルーム））

本パネル討論では、アフリカが持続可能な開発を促すために実施している政策やプログラムのうち、日本および世界各国の専門的知識が直接貢献できる分野とはなにかを、科学技術の実務家、政策立案者、コメンテーターが討論します。スピーカーには、エクハルト・ドイチャー OECD開発援助委員会 委員長、カレストス ジュマ アフリカ連合 モダン・バイオテクノロジーハイレベルパネル 共同議長、A. H. ザクリ 国連大学高等研究所長ほかを予定。

アフリカ教育支援イノベティブ・センター

(Innovative Centre on Education Support in Africa)

5月29日（木） 17:00～18:00（ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル（シルクルーム））

「アフリカ教育支援イノベティブ・センター」は、国連大学と文部科学省の共同イニチアチブで、サハラ以南のアフリカ諸国の教育制度に対する取組みを支援しています。主な研究成果は、TICAD IVにて発表します。4校の研究テーマは(1)アフリカの教育政策・改革、(2)プログラム、教授法、指導ツール、(3)アフリカの教員トレーニング、(4)アフリカの教育研究。アフリカのミレニアム開発目標（MDGs）達成には、高等教育の強化が重要である、との問題提議を行います。スピーカーには、ピエール クラゴ、ワガドゥグ大学（ブルキナファソ）、コムラビ・フランシスコ・セド、国連大学理事ほかを予定。

上記イベントの取材をご希望される方は、下記担当者までお知らせください。

国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL：03-5467-1311、e-mail：media@unu.edu）